

救い主、明主様御降臨



発行所
京都市左京区吉田神楽岡町3
有限会社海東社
郵便番号608
電話(771)2022 番
定価1部30円

御生誕祭号

主様は次の様にお説き下さって居ります。
『先ず知らねばならぬ肝腎な事は、旧文明は悪の力が支配的であつた事である。處が愈々時期来て今度は逆となり、茲に世界は地上天国実現の段階に入るのである。然し之に就ては重大問題がある。』

来る十二月廿三日には、私共にとりまして、待望の最も意義深い御生誕祭を迎えさせていただきますわけでありませう。
明主様は、明治十五年（一八八二年）に、御生誕になられましたので、今年は八八回目の御生誕の日にあたるわけでありませう。
『明主様への純粋なる信仰をつらぬかせていただくため』
『明主様の御教えに基づく信仰を守らせていただくため』に新しい第一歩をふみ出させてください居ります私共にとりまして、今年の御生誕祭は今までもまして、深い感謝と喜びをもって迎えさせていただきますわけでありませう。

現在、世間一般の多くの方々は、御生誕祭と申し上げても、ただある一つの宗教の教祖の御誕生日ぐらいにしか考えて居られないかも知れません。勿論、私共が御生誕祭のもつ本心に深い意義を認めさせていただくのは、中々容易なことではありませう。私共が身軀を磨き、向上させていただけるわけでありませう。（地36）

しかし、私共の場合、いやしくも御生誕祭の意義を、単に私共が信仰させていただけている一宗教の教祖の御誕生日、或は自分の病気を救つて下さった有難い方の御誕生日であるというような表面的な考え方にのみとどまっていれば申し訳ないと思ひます。
己に何回か申し上げてまいりましたが、今一度、明主様がこの現界にお顧れ下さった意味を研鑽させていただき、私共は、正しい御生誕祭をお迎えさせていただきたいと思ひます。

万物の創造者であり、且つ主宰者である主神の御目的である理想世界・地上天国実現の段階に愈々入つてきているわけでありませうが、このことについて明

救主降臨

明主様御震筆

御生誕祭を迎えて

『先ず今迄の悪の堆積による罪穢の解消をなさり、善と悪を立分けられるわけでありませう。しかし、このままでは、如何に多数の犠牲者が出るか、計り知れないほど私共は多くの罪穢を持っているわけでありませう。この私共を一人でも多く救つて下さるんとする神様の大愛の発露として、明主様がこの世に救世主としてお顧れ下さったのでありませう。』

『愈々天の時來つて絶対力を与えられ、其の行使による人類救済の大使命を帯びて出現したのが私である以上、私によって真理の深奥を説き、人類最後の救いを実行』されるのでありませう。

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『罪の中でも、意識的に行つた罪と無意識に知らず知らず行つた罪と両方ある。それで意識的に行つた罪は非常に重いので、それは現界の法律と同じです。知らず知らず行つた罪は悔悟して御詫言をすれば許されるものです。（中略）気が附いて御詫言して、今度は別の本当の働きをすれば許されるのです。けれども罪は罪です。それから、やはり相当の代償がなくては許されないのです。（教14・62）と御垂示賜つて居りますように、私共は、罪のお詫言をさせていただくと共に、今度は神様より与えていただいた本当の働き・神様の御用をさせていただくことによつて、お救いいただけるのでありませう。』

『今度罪を消されないと永遠に残るのです。それは軽い罪は昼間になると消えませんが、しかし軽い罪の人は殆んどないのです。みんな重い罪の人です。丁度あなた方が浄土に、幾らでも毒があるようなもので、チットやソットのものではないのです。（教33・9）とお説きいただいた居りますように、私共の罪穢・量は想像を絶するものでありませう。それに拘らず、私共が日々お許しをいただいているさややかな御用・御奉仕によつて、如何に大きな御救いをいただいているかを考えます時、神様の大愛の御心に何とお応え申上げようか、なすすべを見出すことが出来ないものでありませう。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

『一人でも多くの人間を救い給うのが神の大愛である以上、大審判の執行者であり、人間の生命を握られ給うのであるから、神の御手に懸つて罪を許される以外に此の難關を切り抜ける方法は絶対ないのである。即ち人類が負える罪の重荷を神の御手によって取除かれ清められる以外救われる道はないからである。』

長谷川 清治

医術にも一命をとりあつた医
學に感謝し、信賴とあつたが
やがて、一度病室と身は無縁の
やがて、病弱の体となり、ちよとこ
動かしやうが、それは基を失
ふれば危なり、それで突然
ける状態とした。それが昭和十
六年に青木孝の先生（師尊）
より入信された「明心会」であ
る信じた明主（明神の御愛）
を信じたのち、なく、職しに輕い
気持ちで、縁起なかり、青木先生
の手厚い御指導により、体面は
二進一退しながら、すか
り回復し、今は家庭、同人業に
上の健康を誇つてゐます。

この多岐の体面には、後には一人
でも多くの人が教れて、いた
だくたい、大恩を授けられ、高踏的

だまされた。そしてこの神火魔が
おぼけにやられて、さういふた
なまけた人々を、ひとへに師匠の
お手を振へてく、人々に師匠の
お取り次ぎをさせていた、たゞこ
とにより、私も随分驚き、心で
き、除くと今までの銀りをとり
たいといふさまのお返つており
ます。

金銭の取用については、食料生
活はあまた申されませんかつひ
益口勝ちやうが、かつて年頭初
別の献金を送せていただいたな
ごがありました。当初余りに困ら
した年、年末決算するの年は毎年
以上の奮闘で費すので、今年か
り、「親族に頼ずれば、何
倍ものお返しをいただける」の
御教養も休致しては、始めのち
は少しも日本金庫等へ

し、約年末御生誕祭は随分荒れ
しいかと申しおりました。そ
が「先づ中から取りました
お返しは大変」と教えたため
き、私は日々の難題のお返を
と目算をもて御断言をされては
だまされ、その日は手不足の
他、お奇麗・御迷惑をおかける
ことゝなり、神様のご光りに
感謝いたします。

私達は会友先生のみに明証長
巻絶対の教、主と仰ぐ、明主様の
御精神な信を頂くお誓いをす
ていただいたお方は、なお一層御
生活感には御理解のお授けを
いただき、地主国建設の御の間か
れまことを祈し、後の信仰御生
上を祈せられ、と思つておりま
す。

恐ろしい薬から解放されて――

大愛に感謝の1年

神と共に安らぎの日々

「聖門」第五号「発表させてい
なだいたすに、北先生に御浄
霊を初めていただきました。一
年余りやました。十一月初
めに來いたなだて、明るなる三
月ごろにやつとその恐ろしい薬か
ら少しづつ離れられたようにな
つてから、今ではおすつかり薬の
事を忘れられるまででなり、ほん
とくに昨日有難い日はないの
です。今では何と云ふのよくな
い。苦しい思いで薬を飲んでいながら、
と思ふと思ふに思ふわかれやとな
く守り渡したままです。
しかう十年余り飲み続け薬の
たがひやつかりもの身体になつ
たはずとせまげん。やはりお前
は頭腦を何となくに固むより
です。歩行や人並に歩くとは
出来ません。で、床の中や底
座、等々と年中は何かをなされ
て働けるようになつた。な
るべく床に就く時間を少
うと常に心掛けて、日
にいて、とあると心の
私を抱まして下さいます。
うに頼みたい思います。
北先生の御恩を拜見す
ほつとした安ど（癒）や
めて、御浄霊をお願ひ致し
んなはたまふたように
いふのです。やはり神

[illegible][illegible]

雪 伊
子 佐

何しろ、自然法則の
一つのおきには、自然の
ではないをおきにはに
なり
今でこそ、牛乳までは
目C飼料のおもて、畜
省、新聞も時勢は
か、八年間の時は
鶏と肥肝しかなく、飼
す。

さて、はじめより最初の二三年は、有肥田より方で、さし苗の隅が闊ききたり、その有肥田代りたてたのであるが、実際にはそれ程いたっていないからさへ、これは

年ごころの類がなくなり、取極も消して、今で有肥田と取極とを兼ねない利なりました。

（特徴）

まず第二、とくに施肥田

法の源流は、その文意よくし
て、かゝる根の根の根の根が
わかるとなす。

その二には、辛酉の癸卯や
組紐は、たゞはちやスズキ
のうに面割に一つつて、虫の
害病病に抵抗性を強くなる
のであるか判別されること
ではないか、この二は問題。

その六は、申し上げるまでも
なく、たゞていふまでもなく
である。金部は、たゞていふ

て過ぐすと云出来ましたら、眞
高の幸福と存じます。

神様が手をひいてつれて下さる
と考へると、何となく心は豊潤
なものです。四人の子供連もそれ
ぞれの頭を素直に擡ぎ、母や姉に
慕はせていたがいて居りますし、
私の夫がまあ不自由な身体も、一
日一日と御守護下さいますと云

御教え、一部の狂いもない

これこそ絶対の道

[illegible]

御教え 一立

提問する人は、あへて三つ返わ
れ向代たり。
ちよとこのころ、教会員
然田法堂平部あめこのころ
が盛なり。私の水田に使って
いたて、昭和三十一年が
より、より水田踏みこにな
りました。
はじめは四人の人名が、
いろいろなことをいわれた
が、明主様の御教にもう
き、会長先生の御教にも御恩
で休耕するの意のわやで、

面積は二・三アール百三
十坪あり、土は粘質土で
かなり硬かつたところ
で、岩露出はきつとあ
り、田はあきせん。ただ、今
き都市化にあつたある農
士は、谷の裏し水がき
でも水田のおこころあ
るが気がかりと、一度
このまじな方はわかれ
て、一かいて、眼に要
して休、あれたの

やればいふがな、と気が附か
らつてことがあつて、取極少
ないし、船の生計も貧弱だ
といふ、

途中で種々を乞ひ附きたり、
前代りしが不附であつた
といふ、なななななななな
せといひたいて、よやや、四
五五五たつちと、ほんととの自
然體法のりかなを、少くも
ました、単位面積の積木
散をふふと取り、生きた土の
がわがかります。昨年、地肥田

[illegible]

行事のお知らせ

御生誕祭 十月二十三
日午後四時半から、祭典
式執り行われ、そのあ
る行事を行います。

新年会 二月一日（正月）平
午前十時から、歌舞伎後
御膳所、御生誕祭にあが
りながら精進粥を、華しい
正月をお祝いいたします
よう。

◇青年会新年会 一月九日午
後六時から、金銭四日
四、各五時九時半、プレ
ゼント贈り、宴しゲーム
に会って、盛りださるの
ケケニール会場盛況いた
せ。

1

1000

ついに實現なる「文明の面影」

足げにされな がら開拓布教

片田吉にも私達の働きを

運 聖 一 太郎

初の日には御浄霊對死者全九名も
毎々頂いたのです。神様はこの
町の人々にも御守護下されたの
です。またすぐになか／＼毎々
れた御浄霊對死者の方で、奇蹟
見られ、入信される人々も出
来られました。

こうして自問余の眼、門
の私や足げなされた、田舎の
本家とほど歩みきたる御浄
霊に事ある「御浄霊對死者
密なつな」と言われ、心
底から感激し、明治への感
の念、二杯し、またと貴
な体験をさせて頂き、つくづ
と／＼こちらが心から人類の
用、御浄霊を頂きたい願きは
必明主様は守護下とて

